

平成 28 年度常緑果樹関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 28 年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成 29 年 6 月 20 日(火)にホテルラングウッドにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者 18 名、委託関係者 21 名ほか、計 50 名の参集を得て、除草剤 4 薬剤 (22 点)、生育

調節剤 4 薬剤 (8 点) について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成 28 年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験 判定

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. AK-01 液 グリホサートイソプロピ ルアミン塩:41% [TAC普及会]	カンキツ	マルバツユクサ	実・継 (従来ど おり)	実)[カンキツ:雑草全般] ・春～夏期 ・雑草生育期(草丈30cm以下) ・一年生雑草対象:250～500mL/10a ・多年生雑草対象:500～1000mL/10a 散布液量<25～50L/10a(専用ノズル使用)、 50～100L/10a> ・茎葉処理(樹間・樹冠下) 継) ・多年生雑草に対する草種と効果の確認 ・マルバツユクサに対する効果・葉害の確認
	カンキツ	薬害試験		
2. HCW-201 フロアブル DCMU:50% [*保土谷UPL 北興化学工業]	カンキツ	一年生雑草、雑草発生前	実・継	実) [カンキツ:一年生雑草] ・春～夏期 ・雑草発生前 ・100～200mL<100L>/10a ・土壌処理(樹間・樹冠下) 継) ・葉量400mLでの効果・葉害の確認
3. NC-360 フロアブル キザロホップエチ ル:7.0% [日産化学工業]	カンキツ	一年生イネ科、多年生イネ科雑草	実	実) [カンキツ:一年生イネ科雑草(スズメノカタビラ を除く)、多年生イネ科雑草] ・春～夏期 ・雑草生育期(草丈30cm以下) ・500～1000mL<100L>/10a ・茎葉処理(樹間・樹冠下)
	カンキツ	薬害試験		
4. SCC-010 液 グルホシネート:18.5% [日本アグロサービス]	カンキツ	一年生雑草	継	継) ・効果、葉害の確認
	カンキツ	多年生雑草、スギナ		
	カンキツ (温州 ミカン)	薬害試験		
	カンキツ (温州ミ カンを除 く)	薬害試験		

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. CS-22H 水和 炭酸カルシウム:91.0% [白石カルシウム]	温州 ミカン	浮皮軽減(200倍への拡大)	実・継 (従来ど おり)	実) [温州ミカン;浮皮軽減] ・着色初期 ・100倍 1~2回 十分量 ・散布(果実表面に十分付着するよう) 注) ・果実の表面に白色の汚れが残る場合がある 継) 200倍での効果・葉害の確認
2. イソプロチオラン 乳 イソプロチオラン:40.0% [日本農薬]	温州 ミカン	着色促進	実・継 (従来ど おり)	実) [温州ミカン;着色促進] ・収穫20~30日前 ・2000~3000倍 ・立木全面散布あるいは枝別散布 継) ・4000倍での効果、葉害の確認
3. ジベレリン 塗布 ジベレリン:2.7% [広島県立総合技術研究 所]	レモン	新梢伸長促進	実・継 (従来ど おり)	実) [温州ミカン(石地);新梢伸長促進] ・新梢萌芽期 ・100mg/枝 ・新梢基部塗布 継) ・べにばえ、みはや、レモンにおける効果、葉害の確 認
4. ジベレリン/マシン油 水溶/乳 ジベレリン3.1% マシン油97% [協和発酵バイオ]	カンキツ (麗紅)	花芽抑制による樹勢維持(マシン油と の混用使用により更なる薬量低減)	実・継 (従来ど おり)	実) [温州ミカン;花芽抑制による樹勢の維持] ・収穫直後~2ヶ月後(但し、11~1月) ・ジベレリン2.5ppm+マシン油60~80倍 十分量 ・立木全面または枝別散布 [不知火、はるみ、ぼんかん; 花芽抑制による樹勢の維持] ・収穫直後~2ヶ月後(但し、1~3月) ・ジベレリン2.5ppm+マシン油60~80倍 十分量 ・立木全面または枝別散布 注) ・マシン油の使用上の注意に準ずる 継) ・ジベレリン5ppmでの効果、葉害の確認 (温州ミカン) ・せとみ、みはや、ゆず、麗紅での効果、葉害の確認